

SHARP

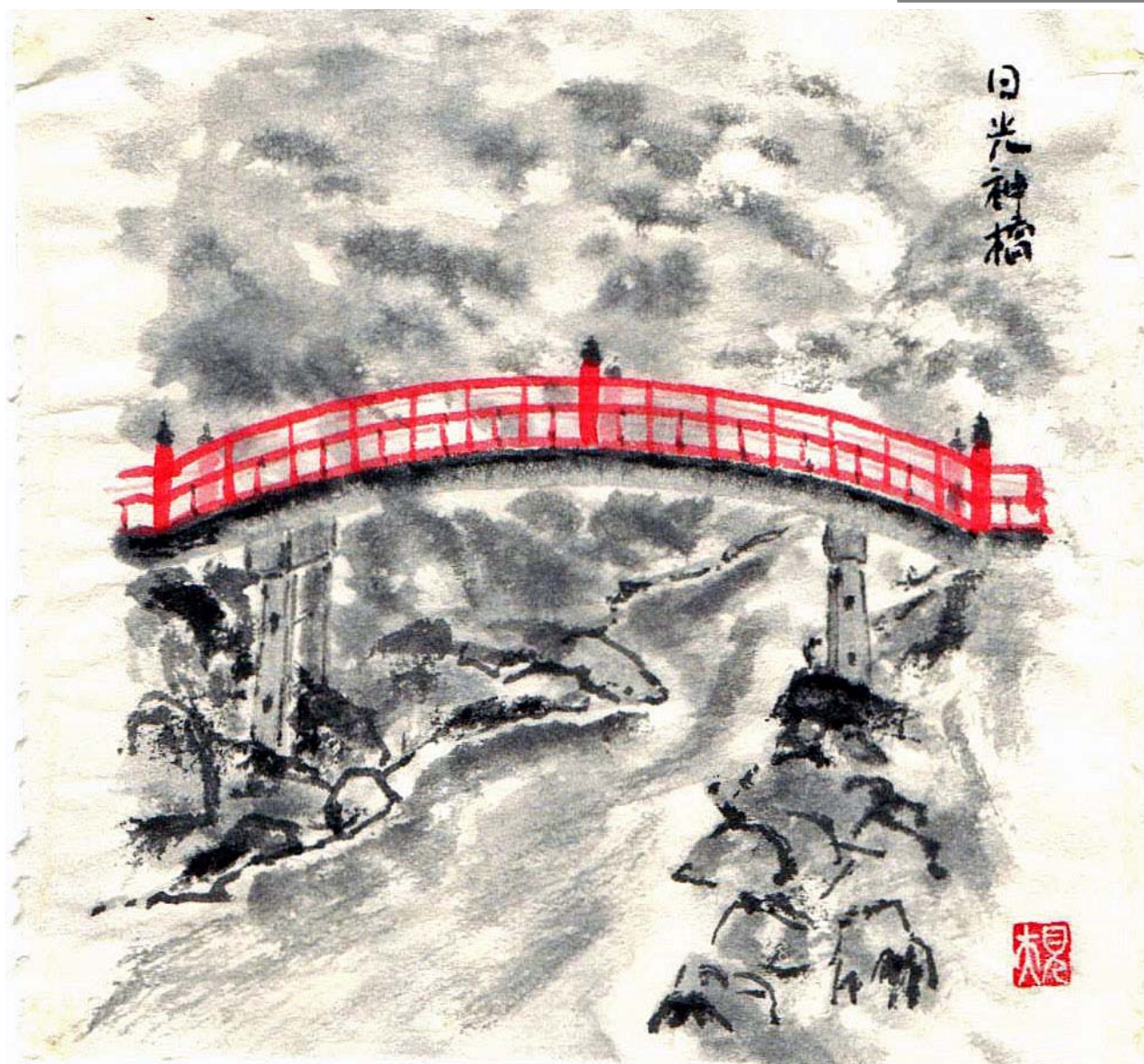
シャープ社友会
栃木支部

1998 / 5

創立10周年記念号

日光

栃木



タイトル： 紺碧の空に、燦々と輝く日の光、緑豊かな大地。自然に恵まれた栃木をシンボルします。
と同時に当地を代表する観光名所”日光”を表します。
カラーコンセプト：日光の赤 (R)、栃木の緑 (G)、バックの青 (B) は、カラーテレビの信号の
R・G・Bをイメージし、AVシステム事業本部のルーツを象徴します。
同時に、グリーンは社友会のシンボルカラーでもあります。

ひとは、みんなのために

みんなは、ひたいのために

相互親睦



栃木支部発足

十周年記念に寄せて

ご挨拶

一〇年一昔と申しますが、早や一〇周年の記念行事を迎え、当初五〇名有余で発足した栃木支部が、今や百十数名を数えるに至り、盛況を迎えております。

各幹事の方々には、それぞれ地域会員のお世話を願ひ、会の運営に支障無き様、御尽力頂いております。紙面をお借りして、厚く感謝申し上げます。社友会には高齢者で構成される宿命とも云うべき寂寥があり、会員十一名の方々が他界され、今日の喜びを共に出来ない事は、誠に寂しい限りです。

天国でこの日を旧友達と共に喜び私たちを支援して下さい事を、ご冥福を念じながら祈願致します。

過去を振り返りますと。会社から提供して頂いた社友会室の詰め当番も、個々の都合で思うように成らず、何一つ此はと胸を張って、ご報告出来る行事の足跡が見つかりません。

只、年に数回の会合(行事)に、都度参加人員が一人二人と増加してきた事が、本会の主旨である相互親睦の成果と思われまふ。更に三年前(平成七年八月)から、会員皆様方のご協力により、ご家庭に退蔵されている商品が無償提供頂き、福祉チャリティバザーを開催し、売上金を矢板市老人福祉に寄付致して参りました。昨年七月で三回目を数え、シャープ社友会栃木支部も社会に貢献する事により矢板市長より感謝状を頂いて居ります。今後も更に社会に貢献して行きたいと考えています。

支部長

浦川正司

地域の広がり、年齢のバラツキ、健康条件の不安定等々、何れも会の運営に問題を抱えて、一律的な教条活動では無理があります。

会員各位の相互理解と互助の精神で、より活動的で会員皆様に喜ばれる社友会とする為の、運営面での、ご協力を御願致します。

高齢者社会の生涯学習とか、色々なことが云われています。私には難しい事はよく解りませんが、ただ次のことを反復し、毎日を頑張りたいと心しています。(ある時、手にした小冊子に

記載されていました。ご参考に、)

そのうち ○○が落着いたら、

そのうち 時間が出来たら

そのうち ○○○○

そのうち そのうち

できない理由を繰り返していると

結局は何もやらなかった。

空しい人生の幕が下りて

頭の上に寂しい墓標が立つ、

そのうち、そのうち日が暮れる。

今来たこの道帰れない。

之を見まして、残された人生を人それぞれ年代、嗜好、性別等により、社友会への期待の中身が異なるのは当然ですが、孤独疎遠になりがちな人間関係を修復する憩いの場として、

社友会活動を進めて行きたいと思っております。

会社との接点として、社友会栃木支部を大事に

末永く発展させていきたいと思ひます。

会員皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈りつつ。

健康で理想と希望を持ち
楽しく有意義な人生を……



社友会栃木支部発足 十周年を迎えるに際して

シャープ社友会

会長 太田 諄一

シャープ社友会が頭初発足したのは、

昭和五十年（一九八〇年）四月二十九日。今は亡き古藪会長をリーダーに約五十名の会員で、シャープ株式会社のバックアップを受け結成設立されています。社友会が結成された頭初。私自身会社の人事本部を担当していた関係で発開式にも同席、記念写真にも入っていることもあり懐かしく感じています。

社友会には現在三支部がある中、栃木支部は、平成元年（一九八九年）十月約六十名の会員で頭初に結成された支部でもあります。私の社友会入会も同じ年であったことも何かの縁があったとも感じます。初代の古藪会長からバトンタッチを受けた後、栃木支部総会に出席、皆さんと懇談した記憶があります。

其の後平成五年に広島支部が結成、平成六年には東京支部が結成、会員も急速に増え昨年の十月には、一〇〇〇名の大台を越え、本年二月十六日現在、田辺本部八〇八名、栃木支部一二一名、広島支部五一名、東京支部一〇一名、合計一〇七二と盛会となり平均年齢は六五・七才となっているのが現状です。

社友会の中ではトップに結成された栃木支部、十年間にわたり会員相互の親睦と和を中心として活動された会員各位、並びに役員の方々に敬意を表すると共に、社友会を特にバックアップ戴いたシャープ株式会社に御禮を申し上げます。

今回は栃木支部十周年を記念して会員各位の随筆も含めて特集としての会報を発刊されると聞きます。十年間に於ける社友会員の感想を広範囲に収録されていることは、現在だけでなく将来に於いても大いにプラスになると期待しています。社友会を更に楽しく有意義なものとするには、何と言っても会員各位。お互いの健康と言うことになりましょうか。自身に合った健康管理と、趣味を生かし、理想と希望を持つことで老化を防止出来るとの諺を肯定し、日々の平凡な生活の連続を心掛けたいもの。

最後に栃木支部社友会会員各位の健康を祈念し支部十周年に際しての筆を置く事にします。

“誠意と技術”

21世紀マルチメディア社会に向け

デジタルビッグバンする

AVシステム事業本部



シャープ社友会

栃木支部結成十周年祝辞

シャープ社友会栃木支部が、結成十周年を

迎えられた事を、心よりお祝い申し上げます。社友会栃木支部は、平成元年、当時の電子機器事業本部を退職された皆様方が、「社友会行事に参加したいが、大阪までは遠すぎて参加できない。栃木に社友会の支部を設立していただけないか？」との強い思いから本社社友会に懇請された結果、思いが叶って平成元年十月に発足されたと聞き及んでおります。

爾来、現在の支部会員数が発足時の四八名から百十名へと、拡大発展の一途を辿っておられる事や、年間を通して取り組まれる数々の会員相互の親睦を深める行事や、社会奉仕を目的とした取り組みをされている事など、そのご盛会ぶりをお伺いするにつけ、誠に心強くまた喜ばしい限りと存じます。

さて、昨今の日本社会は経済的にも社会的にも様々な混乱が相次ぎ、今までのしくみやシステムの再構築が進展しつつありますが、とりわけわが国の高齢化社会への移行がクローズアップされ、各企業においてその対応を迫られているのはご高承の通りであります。このような状況下シャープ(株)における社友会は、定年退職された皆様と会社のかげがえのない接点として、また、定年退職を目前に控えた社員への良きアドバイザーとして重要な役割を担っていただいております。まさに生涯シャープマンとしてのご指導とご鞭撻は、私共にとって貴重な財産と感謝致しております。又、AVシステム事業本部は、今年の四月で操業開始以来三十年という記念すべき

AVシステム事業本部長

専務取締役 井上 弘

時を迎えますが、幾多の困難な時期を乗り越え今日のAVシステム事業本部にまで発展してこられましたのも、偏に、その礎を築いていただきました諸先輩の一方ならぬご尽力の賜物と、今ここに改めて思いを新たにしているところでございます。

今、AV事業を取り巻く経営環境は、日本経済の先行き不安と構造不況に起因する国内市場の低迷や、金融システムの破綻等による消費マインドの低迷から大変厳しい状況にあります。しかし、私共のAV業界としては二千年に予定されているテレビ放送のデジタル化や映像と通信システムとの融合をはじめとするマルチメディア時代の到来という、大きな夢のある事業チャンスが待ち受けています。社友会の皆様方諸先輩が営々として築いて来られたAVシステム事業本部が、このような恵まれた業界におかれている事を感じ、従業員全員で「誠意と技術」の合い言葉の下に独自技術の開発に努め一段と社会に存在価値のある事業本部となるよう邁進致して参る所存で御座います。

社友会栃木支部におかれましても、この度の結成十周年を機に一段と会員相互の親睦を深められると共に、私共AVシステム事業本部にも引き続きお力添えを賜りますようよろしく御願い申し上げます。最後になりましたが、社友会栃木支部の益々のご発展と会員皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます。社友会栃木支部結成十周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

戦後体制からの脱却と

政治、経済、社会の変革による

新日本システムの構築を!!



栃木支部発足

十周年お祝いの言葉

シャープ社友会栃木支部の結成一〇周年を、心からお祝い申し上げます。多くの会員の皆さんの努力と協力によって、一〇周年を迎えたことに敬意を表します。

シャープ社友会は過去より本社に設置され、退職者の親睦と生きがいと共に見いだす組織として先進的な活動が進められていました。栃木工場が設立され二〇年が経過し、栃木工場で定年を迎える人が少しずつ出始めたころ、多くの人達から、「会社をやめても、何等かの形でシャープに貢献したい」「拘わりを持ちたい」との心温まる声を聞き、労組栃木支部は二十一回定期大会で「定年退職者の会を設置する」の方針を決め、一年間の準備期間を経たのち一九八九年一〇月に結成総会の運びとなりました。

結成の準備に当たっては、初代支部長の木村正さんをはじめ役員になられた皆さんや、当時総務部の藤田部長（現在通信システム事業本部総務部長）、喜多村課長など多くの皆さんの熱意と努力が支部結成に結び付いたものと思っております。その後の活動は、「同士への思いや

シャープ労働組合栃木支部

執行委員長 池沢 三夫

氣を使われ、いつの日も明るく生き生きとした先輩諸氏のお顔を拝見させていただいていることを嬉しく思っております。

今、世の中が大変気ぜわしくなっております。政治、経済、社会が戦後五〇年を経過し、先輩諸氏が累々と築き上げてきた日本のシステムがグローバル化の中で変革が求められています。この変革に対応することが次の隆盛につながる訳ですが、いまの状況を見ると行き先、出口を見つけ出せず、迷いの時代にあるといえます。山に入って行き先が分からなくなったら、元の地点にもどり再確認することが鉄則です。

いまの時代こそ、原理原則から培われた諸先輩の経験と知恵が、私たちにとって分かりやすい道しるべになるものと思います。是非、シャープの仲間の一員として、これからも御指導を戴きたいと存じます。

シャープ社友会栃木支部の益々の発展と、会員皆様さんのご健勝を心からご祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

栃木支部設立

回顧録

社友会栃木支部十周年に当たり、

当時を振り返り所感を述べさせて頂きます。
私が定年退職をしたのが昭和六十三年三月末
でした。当時栃木関係の会員は私の入会で
全社員数二百四十八名中、八名でした。

此迄の殆どの会員は大阪を中心とした会員で
したが栃木に工場が展開され栃木での退職者
も多くなりますと、大阪を中心にした遠隔の
地での社友会活動への参加もまま成らず、
栃木での交流の場が欲しいと云う事は、
我々栃木関係の退職者の共通の念願でした。

この思いを当時の電子機器事業本部（以下会
社と云わせて頂く）の藤田総務部長が聞き、
何とかしてみたいと云う事で、連絡を受け
会社へ出向き、話し合いが行われたのが
平成元年の八月十日でした。

私も会社の応援を戴けるなら支部設立の努力
をしてみたいという事で、先ずは本社社友会
へ行き栃木支部（仮称）設立の必要性を訴え
了解して頂く事であるとして、善は急げとい
う事で、八月二十二日に社友会の幹事会に

初代支部長

木村 正

藤田総務部長と不肖木村が臨席させて

戴きました。其の幹事会で、栃木の社友会員
が、親睦を図り交流を深めて行くには

どうしても栃木支部設立が必要で栃木の退職
者の殆どの者が望んでいることを訴えました。

藤田総務部長からも力説助言して頂き、
主旨の了解を得て帰りました。幸い前電子機

器事業本部部長が社長で、社友会窓口の労務部
部長も元栃木研修所の田村部長でした。

外にも沢山の電子機器事業本部勤務経験の
方々に、お会いし、激励されました。

翌、二十三日は本社の好意でシャープトップ
の技術本部、技術ホール等を見学させて頂き、
感激して帰りました。

さてそれからが大変です。八月二十四日には
藤田総務部長と、元常務の稲見作十様を

お訪ねし、社友会本部での件に就いて説明し
支部設立への今後の御指導を御願い致しまし

た。支部長を御願いました。協力は惜し
まないが、健康が優れないので君たちに頼む

から頑張ってもらいたいと云うことでした。

（稲見常務は、この年、十二月二十二日に
急逝されました。）

九月十九日、十時より栃木支部発足に向け
準備会を開催しました。

会社より 藤田総務部長、喜多村課長。
岩村係長、

組合より 池沢委員長 続田副委員長
兼子書記長

社友会側 木村、保科氏、西脇氏、吉田氏。
小野崎氏

以上の方々を設立世話人に御願ひし、設立総
会を十月三十一日に定め、活動を始めました。

まず会員確保の為、五人の世話人が分担し、
会員有資格の退職者を訪問し入会を勧誘する
決議をし、即実行しました。当時会員は十八
名、有資格者三十一名でした（申込者三十名
でした） 十月二十日世話人会を開き希望会

員の取り纏め、支部会則、事業計画、活動計
画等を検討し作成する。十月三十一日の設立
総会に向けて役割、連絡等、世話人に依頼、
会社では食堂内に社友会室を準備して下さる。

十月三十一日。社友会室で設立総会。

本部より、古藪会長、吉江副会長、のご光来
を頂く、又元常務稲見作十様、新本部長、
藤田総務部長、土田総務部長、喜多村総務課

長、松山課長、岩村係長。労組の池沢委員長、
続田副委員長、兼子書記長等、来賓多数の方
々の祝福を頂き、厳かに盛大に設立総会を挙

げることが出来ました。古藪会長、吉江副会
長は来栃当時お二人で百六五才と伺いました。

吉江副会長は今なお、お元気に頑張つて
下さっているとの事、誠に敬服いたします。

以上栃木支部設立時の概況ですが、設立世話
人の方々には短日時に色々と協力取り纏めて

下さり、又会社では、急遽社友会室を作つて
頂き、この運営の為、色々なことにご協力賜

り社友会初めての支部設立を成し得た事に
心より感謝申し上げます。

特に藤田部長には格段のお世話になりました。
又設立委員に成られた保科副支部長、西脇事

務局長、石塚幹事、吉田幹事、石下幹事、
小野崎幹事、佐藤幹事、大森幹事、広尾監査

役、斉藤監査役、有り難う御座いました。

この年十一月二十一日に桂副社長が、十一月
二十二日には、辻社長が来栃され、其の折り

社友会室に来訪下さり、支部誕生を祝福の上、
今後の活動について激励を頂きました。

今。支部会員も百名を越えたとの事、
役員の方々のお骨折れも大変なことと

存じますが、会発展のため、宜しく御願ひし、
十周年記念に当たり、思い出を記させて
いただきました。

社友会十年を振り返って

副支部長 石塚 忠

シャープ社友会栃木支部創立十周年記念号の発刊に当たり一言、ご挨拶申し上げます。

昭和六十三年に栃木支部が発足し早くも十周年の節目の年を迎えようとして居ますが、会員の皆様方には何のお変わりも無くお元気にて毎日、楽しくお暮らしの事と思い、お慶び申し上げます。

十年の長き日を振り返り見ると、発足当時、木村前支部長、保科副支部長、西脇事務局長の三氏の方々のお力により、会員を集い、栃木支部を創立され、第一回設立総会が開かれたことに対して、心より三氏の方々に御礼申し上げます。本当に御苦労様でした。創立当時は会員数も少なく四八名程度かなと思います。

平成十年三月末現在では百十四名となり、本部に次ぐ二番目に大きな支部に成って来た所であります。大きく成るにつれ地域の幹事さん達には大変な苦勞をお掛けして居る処であります。心より御礼申し上げます。

十年間省みるに、会員の親睦を図るべき事業を計画してきた処ですが、その中でクラブ活動や福祉チャリティバザーや新年会、秋の旅、本部との合同で箱根温泉から千葉、幕張ビル、液晶三重事業本部等の見学会、その他の支部内での事業を実行してきた処であります。参加者が少なく残念に思う次第であります。残り少ない人



生を楽しく暮らす上でも、一度は参加される事も、宜しいかと思えます。今年是非、御参加されます様御願いたします。
最後に皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。御挨拶に代えさせて頂きます。

行事への御参加を!!

事務局長 中村義雄

シャープ社友会栃木支部設立十周年おめでとう御座います。

私、定年後足かけ7年、当栃木支部の事務局を担当させて頂いております。会員皆様の暖かいご支援の下、今日まで無事務められた事を感謝致します。これからも社友会の為、皆様方の為頑張るつもりで御座います。

第二の人生を皆様それぞれの道を歩んで居られる様ですが、事務局からの御願いとして、社友会が企画する様々な行事には出来る限り一人でも多くの方々が御参加下さる事を切望致しております。

今後会員数が更に増える事が予想されます。一に参加、二に参加、お互い旧友との和と輪のつながりを大切にして行こうではありませんか。それにより我が栃木支部は、益々繁栄するものと確信致しております。

最後に、十周年の年を節目に初心に戻り社友会の為、更に頑張る所存で御座います故会員皆様方の絶大なる、ご支援、ご協力を御願い申し上げます。



栃木工場の思い出

池 渕 康 彦

昨年十月二十八日を以て三十八年七ヶ月勤めた会社を退職し社友会の仲間になったが、栃木支部の十周年の記念誌を出すので何か書けとの浦川支部長のご指示で、栃木工場の思い出をいくつか記しておこうと筆を取った。

入社したのは昭和三十四年でテレビ技術部に配属されたが、当時の会社の資本金は五億円か十億円で従業員も二千人位と記憶しており、工場も大阪に集中していた。現在の資本金、従業員数、海外にまで展開した事業は、当時は全く想像できなかったことである。昭和三十四年は、丁度平成天皇の御成婚の年にあたりテレビ（勿論当時は白黒テレビ）の生産が大変忙しく、前年の冬休みには採用内定者に生産応援のアルバイトの要請もあった程で、夏のボーナスは五ヶ月を越える好景気であった。（残念ながら、新入社員はその恩恵に与ることは出来なかったが）

その後テレビもＩインチ一万円から大幅に下がり一般に普及するとともに、需要の頭打ち・価格競争で厳しい状況になって来た。テレビ・洗濯機・冷蔵庫と需要が一巡し、東京オリンピックが開催された昭和三十九年も終わり、四十年は業界も不況に陥った。我々も初めてストライキをし、ピケを張ったが、慣れないこととて半日でくたくたになってしまった。この時は半月以上のストライキを経て

決着したが、今振り返ってみると会社生活の中で一番厳しい時であった。

その後、テレビの輸出の増加やカラーテレビの普及により、昭和四十年代の中頃は再び好況になっていたが、昭和四十六年にいわゆるニクソンショックで一ドル三百六十円の固定レートがはずれ、輸出がまた難しい時期になって来た。



また、日本ではテレビ市場は完全にカラーに移行し、白黒テレビはほとんどなくなってしまった。輸出だけで田辺工場の生産をまかなうことは困難になり、カラーテレビが先行して栃木工場に展開していたので栃木に集結することになり、昭和四十八年に栃木へ移転してきた。当時は高度成長の弊害で、工場排水による河川や海の汚染、空気の汚染が大問題となり、都市からは工場は無くすのだというほどの動きもあり、転勤できる者だけを転勤させるということで、仕事も大幅に絞ってもどるようになして行くのか悩ましい時期であった。それに迫り討ちを掛けるようにオイルショックがやって来て、栃木工場でも仕事がなくなり新しい仕事探しに皆が苦労した。結局ある程度の人減らしはやむをえないということで、その一環として台湾声宝社に白黒テレビの設計技術教育と移管を兼ねて六名が行くことになり、その責任者として一年の予定で昭和五十年にまた栃木を離れてしまった。翌年滞在期間が予定より二ヶ月延びて帰国し、再び白黒テレビの開発設計を担当したが、白黒テレビの生産の主力は海外に移りつつあり、日本ではラジカセ付白黒テレビなど特殊な商品だけになってしまった。

昭和五十四年にVTRの緊プロチームが栃木に展開して来て事業部が発足することになり、栃木工場側からの受け皿部隊としてビデオ事業部に参画した。生産は当初はビクターの製品のノックダウン生産で慣れてから自社開発製品に移行する段取りであったが、なかなか設計が固まらず生産が立ち上がらなかった。特にVTRの場合は記録系と再生系の二つがあり、一旦記録してから再生して見て画質が良いかどうか判断するという手順になり時間がかかることと。もしうまく行かなければ記録系と再生系のどちらに問題があるのかを見極めることが必要で、とにかく時間のかかる仕事であった。記録系と再生系の問題をやっと片付けてチューナーを通して見ると、今度はチューナーからまともな信号が出ていないということで生産が始まるまでに随分日数を費やしてしまった。当初の事業計画が六ヶ月で二十四億円の売り上げであったが、丁度VTRの普及が始まる時期にタイミングが合ったお陰で、増産増産で年間千五百億円を超える事業体になって発展し、本当にやりがいのある仕事をやらせて頂いたと感謝している。

ビクター、ソニーからは四年遅れでスタートしたが、技術的には三カ年で追いつこうと頑張ったが、長時間モードやHIFI機能など次々に開発され、これを消化するのに精一杯でなかなか追いつけなかったのが残念である。

当時栃木の責任者であった現辻社長からは、「ズボンを上げながら走らないといかん。」と発破をかけられながら、皆と遮二無二に走って結果的には良い成果に結びついたことは大変幸せであった。新製品の立ち上げの都度設計が固まらず、量試品もかなり廃棄せざるをえず損失もあつたが、高度成長の時とはとにかく早く走ることが成果につながるとも言われているので、これを慰めにしておこう。しかし、これを教訓に設計の標準化を進め、ライン落ち率を一挙に改善することが出来た。それは、

一、試作にMELFマウンタを導入し、開発の効率を上げた。

以前は、試作は技術部員がプリント基板に部品を手挿入していた。VTRは全部で電子部品が二千点程あり、一枚のプリント基板に数百点部品がついたものが四、五枚あつた。

人間の誤り率は1%位有るので一枚のプリント基板に四、五点部品誤りがあり、これがランダムに発生する。従って試作をしても設計通りの試作が出来ず、動作させるだけで試作検討期間がすぎて、肝心の評価検討が出来ていないからずれ込んでしまう。部品挿入を機械化することで、たとえ誤りがあっても同じ誤りであるから対応が早くなり、評価検討が予定通り出来るようになった。

二、設計の不具合点を早く改善した。

電子機器生産のライン落ちの中でウェイトが高いのはプリント基板の半田付けである。設計の標準化が進んでいない時は同じ商品が連続して生産されないから、生産に不都合な所があつてもすぐ対策されず放置されたり、対策が遅れたりする。しかし標準化を進めると、機種が変わってもプリント基板は共通であるから連続して生産している形になり、また一つ対策すれば全てに適用出来るので一挙に解決する。

このような形で、技術者の手を空かしムービーの開発に対応した。仕事の話はこれくらいにして、何といつても栃木の良い所は風光明媚で水・空気がきれいで米がうまい、また温泉とゴルフ場に恵まれていることである。

しかし、明治維新以降の那須野が原の開拓、少し遡れば芭蕉の奥の細道のルート等々、栃木のことについて余りにも知らなさ過ぎることを痛感している次第である。

これからは、温泉とゴルフを楽しむつつ、一方では栃木のことをもっと知りたいと思つていく。

社友会の先輩の御指導を御願いして終わります。

矢板の史跡に

纏わるエトセトラ

上野 敦

今年のお正月は天理の黒塚古墳のニュースが注目を浴びました。

その近くには崇神陵、景行陵、石上神宮。大神神社がある。当地にも関係史跡が多い。石上神社が矢板市大槻にあり、下野国府に大神神社（おお、わじんしゃ）、那須国衛跡近くには三和神社が、また宇都宮の二荒山神社には崇神の御子トヨキリヒコが主祭神として祀られています。

木幡神社 坂上田村麿が京都よりこの地に勧請したのがはじまり、藤原秀郷（ひであと）は平将門（まさかど）誅戮を祈願し、功あつて朝廷より壺千

石の祈進を受けた。源頼義（よりよし）義家（よしいえ）父子永承六年奥羽征伐の祈願をしている。建久四年頼朝も祈願。毎年二百石の寄進があつたが、戦国時代に寄進が途絶えた。徳川家光より改めて朱印地二百石を寄進された格式の高い神社であつた。主祭神は、天忍穗耳命（アメノホシホミミノミコト）で天照大神（アマテラス）の御子である。神社の北に接して大きな前方後円墳がある。築造は西暦四百年代で、被葬者は地域の最高権力者に違いない。矢板の発展の原点といえる。

御前原城 西暦千七百七十八ごろに堀江左衛門尉頼純が築城、頼純は源義家の孫である。城主頼純を主人公とした十二巻百三十話の絵巻が

「堀江物語絵巻」として静岡県熱海市のMOA美術館に所蔵されている。矢板にはその原型の「伊達鏡塩谷堀江記」や「堀江軍記物語」がのこっている。物語は、都から国司が赴任してきてこの国司が頼純の妻を奪うため頼純主従を自殺に追いやり云々というもの。絵巻の作者は岩佐又兵衛（いきまたべえ、一五七八〜一六五〇）で、荒木村重の末子である。

木幡の美人 矢板の伝説「木幡の美人」なる話の中に、幕末頃の荒井の領主は九州の大名大友宗麟の子孫に当たるひとだったとの一節があり



ます。大友宗麟は毛利氏ともめ続けた後、九州北部を制覇すべく戦う中で酒と女におぼれ、家来の美貌の妻を自分の側室に所望し、家来である夫が拒むと憤慨して殺してしまったのである。案外この話がこの地に伝わって来て戦国末か江戸時代初期にこれをヒントに「堀江軍記物語」が作られたのかも。

栃木支部十周年に寄せて

志賀実

健康と幸

平山ミチ



昨年七月、社友会に入会させていただき、早や十ヶ月が過ぎました。その間、趣味のクラブや賀詞交換会等に参加させて頂き、在職中お世話になった方々や、古い知人の皆様方と親しく語り合える機会に恵まれ、大変嬉しく、又懐かしく、そして心強く感じております。とりわけ印象的な事は、皆さんのお顔や言葉の端々に、現役中にも増してはつらつと生活されている姿が伺えて、自分もそうあらねばと勇気づけられます。私自身、会社生活に別れを告げたら、あれもやりたいこれもやりたい、と考えていたものの、いざその立場になってみると、気持ちだけが上滑りして、なかなか身が入らず、時間ばかりが過ぎて行く自分の弱さが目に付きます。「仕事」という絶対的目標が存在した現役時代とのギャップを感じずにはいられません。

ともあれ、今後は、改めて生き甲斐の継続と発展を目指して、自分なりの目標を持ち、充実感という成果を実感できる生活にしたいものだと思ひ、日々の行動を積み重ねて行くつもりです。特にベースとなる家庭生活での自分の役割行動の在り方に、未だ未だ戸惑いがあります。家族の役割期待に応えながら、自分の気持ちも充実させるのが、私の当面の課題です。折に触れ、諸先輩の良きアドバイスを御願い致します。社友会栃木支部の仲間も益々増加し、

趣味や親睦の機会を通じて、情報の交換やお互いの刺激や活力を生む場となる様願いつつ、今後共どうぞ宜しく御願い申し上げます。



シャープ在職中華道部に加わっていたので今でも続行している。孫の様な若人、同年輩の人、年代には上下の幅は広いが月に五回二ヶ所の稽古場で稽古をしているが花を手にしたとき、自分が花になった気持ちで生けようと真剣になる。其のひとは何ものにも替え難い。お花の稽古は楽しみでもあるが険しい山路でもある。宇都宮市の県教育会館に於いて月一回の研究会に稽古の成果を発表しなくてはならない。植物の貌それがどんな形なのか、どこを見れば貌なのか、現代の花形を捕らえるのには四苦八苦有りますが、植物の貌、そして植物と共に花に夢を賭けて行きたいと思ひます。

私は農家なので農繁期には主役でやっているが元々稽古は夜だが、夕方田畑から上がって新鮮な野菜をふんだんに煮物酢物漬物等毎回作って持つて行く。稽古が終ると、其のお茶呑みが又楽しいのだ。此のグループの年代も上下の差はあるが、各地域の役職の方、定年退職の方、範囲の広い方々と年に一度二千米くらい山を登山している。私が一番年長なので手足纏らなっている。汗を流して頂上に達したときの喜びは登った人でなければ味わえない喜びだ。昨年は男体山の登拝に挑戦した。真つ暗な岩場を時には膝をついて這い上がり照明は友人に持ってもらった。御来光が拝したくて五時間余かけてそれこそ汗で下着は絞るようだった。やっと頂上にたどり着き御来光を拝した時、ああ健康で良かった。もしかしら途中で御来光を拝するかもしれないと思つていたのに頂上で拝するなんてこんな幸はない。健康でなかったら此の喜びは味合うことが出来ない。汗と涙で胸が一杯だった。そこで記念写真を撮り趣味の教室のレザードで作ったリックをおろして、おにぎりを友人と口にした時の喜びは健康と幸せがここにあるのだと思ひ、健康と幸時にはいろいろ坂を車で上がり日光の或ホテルで働く事もしなば。地域の諸行事にも参加しなくてはならないので、昨年は日光のいろは坂を朝5時に下りて矢板市のシルバー運動会にも参加した。子供達には年なんだから、いろは坂は運転しない欲しいと云われているが、子供が案ずる程ではないかと思う。集落の長寿会(老人会)の親睦旅行には人員を分けて乗り私の車は2号車で後を追って行く、一夜を湯にしたりして近隣愛を深め、明日への仕事も又楽しいもの。今後は健康を主に幸ひを求めて横のつながりを広くして生活して行きたいと思ひます。

思い出アルバム

《平成元年創立総会スナップ》

本部より、古藪会長、吉江副会長のご光来。又、元常務の稲見作十氏。事業本部より、新本本部長、藤田総務部長。労組、池沢委員長等の来賓多数に祝福されて。乾杯!!



(故) 栃木支部初代顧問、稲見作十氏。社友会室で会員の皆さんと囲碁を楽しまれる一刻。

《定例総会集》

☆平成四年度

会社代表、下野総務部長、
労組代表、池沢委員長の
ご出席を戴く。



☆平成六年度

会社代表、島田総務部長、
労組代表、印南副委員長の
ご出席を戴く



☆平成七年度

本部から太田会長の
ご出席を賜り、懇親会も
一段と盛り上がり
刻の過ぎるのを忘れ
歓談に花が咲きました。





シャープ社友会幕張ビル見学記念 1992. 10. 30



本部と合同で新社屋、
幕張ビル見学会。
栃木より希望者参加、
前日は、箱根温泉一泊で
懇親の一夜を過ごした。
〔上写真の説明〕



☆第一回バザー開催

皆さん方より商品ご提供いただき、
福祉チャリティーバザー開催。
愛の売上金を矢板市老人福祉に寄付。



☆ 平成五年秋
石和温泉より身延山、
秋季懇親旅行。
(故) 橋本喜代さんも
お元気で参加されて
いました。
(平成六年十月
享年七三才、ご逝去)



☆ 世界最大の「液晶工場」見学
白垂の新工場、十萬坪の広大な敷地、
液晶電卓発売以来の急速な開発進歩は
二十一世紀の情報化時代に向かって
期待を一層膨らますことが出来ました。



☆ 平成九年秋
鳴子峡、温泉経由、松島周遊紅葉狩を
楽しみました。
今回は、会員の奥様方も、ご参加を戴き、
楽しい旅を、満喫下さいました。

元 気 な 会 員 の ご 紹 介

(会 員 番 号 順 に ご 紹 介 致 し ま す)

- ① 会 員 番 号
- ② 氏 名
- ③ 生 年 月 日
- ④ 住 所
- ⑤ 電 話 番 号

《 メ ッ セ ー ジ 》

設 立 十 周 年 の 記 念 行 事 と し て
会 報 発 行 を 企 画 し 会 員 各 位 の
お 元 氣 な 様 子 を 御 紹 介 致 し 度、
メ ッ セ ー ジ 投 稿 を 御 願 い 致 し
ま し た が、 多 数 ご 提 出 戴 き
御 礼 申 し 上 げ ま す。
今 回、 原 稿 の 字 数 指 定 ぜ ず
ご 依 頼 し た 為、 梓 取 り が
不 揃 い と な り お 見 苦 し く 成 り
ま し た 占 へ、 御 了 解 下 ？ い。
誤 字 そ の 他 等、 事 前 御 連 絡 申 し
上 げ 一 部 原 稿 の 修 正 も 行 っ て
居 り ま す 事、 御 了 承 下 さ い。

(文 責 : 浦 川)



① 6 2
② 広 尾 義 治
③ 大 正 8. 5. 21

社 友 会 会 員 も 多 く な り ま し た。
自 分 の 体 を 大 切 に し、 面 白 く 暮 ら し ま し ょ う。



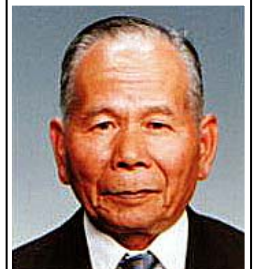
① 1 4 0
② 川 俣 甲 子
③ 大 正 13. 4. 1

不 自 由 常
シ ャ ー プ 製 品 を 愛 用 し ょ う。



① 2 4 7
② 佐 々 木 旦 治
③ 昭 和 3. 2. 11.

退 職 し て 十 年 の 節 目 の 年 に な り ま す。 私 の 退 職 の
時 に は 栃 木 工 場 三 千 名 の 社 員 が い ま し た。
二 十 一 世 紀 に は 又 三 千 名 社 員 が 新 製 品 を 開 発 し て
栃 木 工 場 も 十 年 前 の よ う に 製 品 作 り が 忙 し く な る
様 に 期 待 し て い ま す。



① 2 4 9
② 印 南 基 男
③ 昭 和 3. 3. 25

生 き て い る 再 び を 胸 に 秘 め 一 日 一 日 を 大 切 に し て 農
作 業 に 精 出 し て い る 昨 今、 時 折、 車 で 山 に 行 き 散 策
す る、 山 に は 人 情 を 和 ら げ 人 心 を 啓 発 す る 働 き が
あ る と い う、 残 さ れ た 人 生 を 社 友 会 の 皆 さ ん と
何 時 ま で も 助 け 合 い 乍 歩 ん で ゆ き た い と い い ま す



① 2 5 9
② 野 中 操
③ 昭 和 3. 7. 22.

私 は 毎 週 十 二 時 以 前 日 本 テ レ ビ の み の も ん た の お も
い つ き テ レ ビ を 見 て い ま す。 曜 日 に よ っ て 医 師 は
そ の 日 に よ っ て 話 が 違 い ま す が タ メ に 成 り ま す。
中 高 年 の 脳 が 若 返 る 又 は 生 命 に 関 関 骨 折 を 防 ぐ
生 活 又 健 康 で 長 生 き の 秘 密 は 閉 経 後 の ホ ル モ ン
次 第 と い う 様 で す。



① 2 7 3
② 保 科 雄 喜
③ 昭 和 3. 12. 9

月 日 の た つ の は、 本 当 に 早 い で す ね。
本 年 は、 一 〇 年 で す ね。
あ れ か ら 病 気 も せ ず 毎 日 健 康 で 過 ぎ て い ま す。
私 は 毎 日 畑 仕 事 を し て い ま す。
そ れ が よ い と い い ま す

平成元年退職まで二十年有ヶ月、人と人とのふれあい（出会い）の大切さを教わりました。その後、その事を忘れずに過ごしてきました。今後その心を忘れずに続けて行きたいと思っています。



① 298
② 吉田満良
③ 昭和 4. 4. 1

栃木社友会発足十周年記念に当たり一言メッセージとの事ですので、当時事務局を致し会社はもとより組合の援助を受けて発足致し現在では立派な社友会となりました。これも役員方々のお骨折りで御座います。どうぞ今後ともご発展を願って筆をとめます。



① 283
② 西脇仁平
③ 昭和 4. 1. 10

栃木支部設立十周年、おめでとう御座います。編集部の皆様、ご苦労様でした。今後とも支部発展のため宜しく御願いたします。



① 279
② 吹上栄造
③ 昭和 3. 12. 26

最近、特に感じているのが、私たちの様に占希を過ぎると、知人、友人の訃報に接する事が多く、特に遠くすむ友人が亡くなると、何ともやりきれない淋しさと寂寥さを感じます。……、とにかく皆 元気で過ごしてもらいたい。それが一番の願いです。



① 316
② 大久保義隆
③ 大正 12. 12. 15

皆さんお変わり有りませんか、私もおかげさまで元気にしております。又八月頃よりゲートボールを、始めました。いつか皆さんと、ゲームをしたいと思っております。



① 311
② 佐藤徳雄
③ 昭和 4. 9. 25

平成九年七月より近くの会社へパートで勤めています。工場の外の仕事为主で植木の手入れ、草刈り等です。



① 303
② 小野崎文夫
③ 昭和 4. 6. 20

社友会栃木支部の皆さんお元気ですか、私も健康に気をつけ一ヶ月二回通院をし薬を飲んでおります。時々野球を見て居ます。皆さん楽しく過ごして下さい。



① 322
② 高柳市郎
③ 大正 14. 2. 14

社友会栃木支部結成以来一〇年の歳月も早いもの、そして百人の大家族になり幹部方々の苦労も大変な事と思います。お互いに健康に気をつけて長生きすることですね。



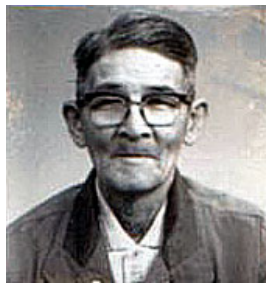
① 320
② 大森光男
③ 大正 13. 10. 16

創立十周年記念を迎えることが出来、役員さん各地城担当の幹事さん達の社友会発展のためにご尽力いただきまして有り難う御座いました。私は、一九六九年一月矢板早川電機に人社、日給千六百十五円、キャビ、パッキング、第一倉庫を経て一九八四年定年退職。平成二年十月、私達退職者として要望希望が実施されて、定年退職者の会を社友会栃木支部として発足。今後人間関係を大切に管理運営にご努力願います。



① 317
② 土屋俊夫
③ 大正 13. 3. 20

昭和六十年六月二日退職以降少々、農業をしながら「晴耕雨読」を「モットー」に悠々自適の生活に入りました。「晴耕」は好いとしても「雨読」は余り得意でないので趣味で始めた「竹工芸」をしています。現在はボランティアで毎日の午後から夜十時後輩に指導しています。皆さんで建ててくれた工房（作業場）六坪の天井をご披露します。お暇がありましたらお出かけ下さい。



① 326
② 国井豊邦
③ 大正 4.6.2



① 325
② 藤間真二
③ 大正 14.5.27



① 323
② 中野宗平
③ 大正 14.3.10.

平成九年より水曜日、日曜日、仲間とゲートボール等し、又近くに温泉があちこちに出来て時々湯入り等に行きカラオケなどしながら元気に毎日を送っています。

日常生活の健康の自己管理のため、私は自分のペースで毎。万歩ウォーキングを心がけています。



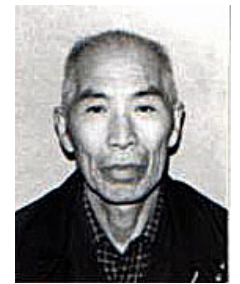
① 335
② 山田一郎
③ 昭和 2.3.28

定年後十二年、月日のたつ早さには驚きます。私も会社を辞めて間もなく旧友から百五十坪ほどの荒地を借り夫婦で荒地を耕し畑仕事に汗を流し野菜作りに挑戦、最初の頃は失敗の連続でしたが現在は何とか人前にも出しても白慢できるようになり子供達や奥さん連中にも好評、益々氣をよくし野菜作りに精を出している毎日です。老後の楽しみは野菜作り、畑が退職後の戦場の様になり毎日を今後もがんばってゆきたいと思っています。



① 331
② 斉藤幸夫
③ 大正 15.5.2.

一〇周年を迎えます事、おめでとう御座います。会員数一〇九名になり、これから楽しく思い出を残しておきたいと思っています。



① 328
② 益子 充
③ 大正 14.12.

第二の人生、心豊かにのんびりと歩きたい。



① 338
② 宮本利夫
③ 昭和 2.10.2



① 337
② 野滝 通
③ 昭和 2.9.1

私も定年退職後十年が経過したし、現在は健康で、過ごしています。又定年された方々も元氣でお過ごしのことと思います。シャープ社友会栃木支部十周年おめでとう御座います。



① 336
② 鈴木喜四郎
③ 昭和 2.7.23



① 324
② 北沢準一
③ 大正 14.3.27

毎朝3km、一時間掛けて歩いていきます。三年に
なりまします。途中の農家の方々とも顔馴染みに成り、
話し合う事もしばしば、楽しみな毎朝です。
早いもので、今年の正月で四年目を迎えます。



① 341
② 中澤政勝
③ 昭和 3.2.2.

私は昭和六十二年の退職です。シャープ様での
仕事を戴いたことで人生に変化があり大変有難く
思っています。退職して十年がたち、お陰様で
古希を迎え元気で居ります。
社友会には今後大変お世話になります。
社友会に御願います。シャープ(株)は勿論
社友会のますますの発展をお祈りします。



① 340
② 吉川 昇
③ 昭和 2.12.20.

私は定年後一〇年になります。毎日農業を
しています。冬になると炭焼きです。夏は鮎釣り冬はハヤ釣
りをやります。毎日楽しい日々を暮らしています。



① 339
② 薄井幸市
③ 昭和 2.11.25.

今の私は、気の合う人達と温泉へ行ったり、
デイ・ケアに通ったりして、
悠々自適に老後を過ごしております。



① 377
② 高野イク
③ 昭和 10.2.12.

長年、不整脈に悩まされましたが、
現在は体調もよく、
温泉やドライブ等を楽しんでいます。



① 343
② 高橋 実
③ 昭和 4.3.11.

血糖とコレステロールが高いため、食事療法と
毎朝一時間散歩しています。
そのため血糖値とコレステロールが下がりました。
健康のため散歩は良いと思います。



① 342
② 鈴木勝衛
③ 昭和 3.5.22.

趣味が多彩なので、若い頃の夢を、
次々満たそうと、退職後ならではの
人生を楽しみ、昔を思い出しながら、
毎日痛快に過ごしている。



① 360
② 船山忠平
③ 昭和 5.3.14.

定年退職後も社友会会員として、
会社より手厚い優遇を受け感謝に堪えません。
今後とも会社の発展を念じつつ
これからの人生を充実させたいと思います。



① 347
② 関 栄三
③ 昭和 4.12.1.



① 334
② 松本元一
③ 昭和 3.3.4.



① 374
② 土田甲子
③ 大証13.2.5.

長引いている不況の中、政治や経済や社会等色々な分野で大きな事故や問題が起きています。

細々と年金生活をしている私たちの将来も暗い方向へ向かっていくような話が多く明るい希望が持てません。

そうした社会環境の中、毎月送られてくる「窓」の活気ある記事を拝読しては

心に安らぎを覚え、会社の益々の繁栄を祈っているこの頃です。

すでに古希を越えて三年有余、

「あ、我れ老い去るか?」と、

感じながらも、社友会のコンペに出て、

白球を追いつながら、芝刈りに勤しむことの

出来る健康な我が身は、本当に幸せだな!

と 感じています。

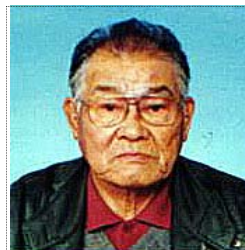
社友会の皆さんの、

御健勝をお祈りすると共に、

役員の皆様のお骨折りに、

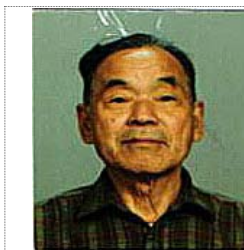
深く感謝しています。

土田 甲子



① 375
② 室井勘二
③ 大証11.6.20.

社友会発足から一〇年、その間役員始め会員の皆様方には色々和努力していただき誠に有り難う御座いました。思い出に残る社友会になりました。これからも御指導宜しく御願ひ致します。



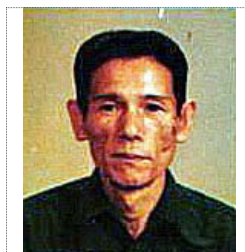
① 376
② 郡司栄治
③ 大証12.10.30.

社友会のお仕事大変有り難く思っています。今後とも宜しく御願ひ申し上げます。この間の健康診断で心臓病と云われました。治療に専念しています。



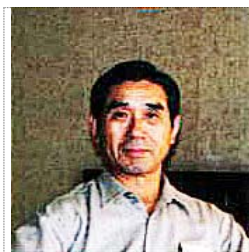
① 394
② 平山ミチ
③ 昭和 5.9.28.

メッセージは「文集」に掲載しました



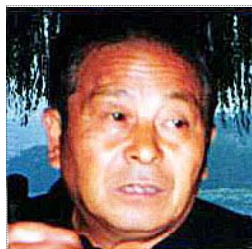
① 387
② 福島五郎
③ 昭和 5.11.1.

早いもので、入会して一〇年を迎えるようになりました。私も健康作りに、愛犬と共に 毎朝運動に励んでおります。会と共に地域活動に 少しでも役に立てるよう努力して行きたいと思っています。



① 400
② 久利生英雄
③ 昭和 6.1.24.

心身共に健康で、充実した毎日を楽しみ過ごしています。現在は、シャープ(株)AV事業本部関連の会社に勤務中。



① 408
② 長谷川忠志
③ 昭和 6.1.10



① 528
② 小野崎正巳
③ 昭和 8. 2. 23

創立十周年御目出度御座います。
私も社友会に入会して、
六年五ヶ月に成りますが、
今日まで健康で自由に家事の仕事に、
部落の皆様と共に行政區活動に
努めております。
会員の皆様、宜しく御願います。



① 435
② 山口和夫
③ 昭和 6. 8. 11.

健康第一
第2の人生は、体に気をつけて
一年々大事に過ごして楽しみに生きたい。



① 428
② 大谷仲治
③ 昭和 6. 5. 4.

趣味
釣り(へら鮒釣り)、写真、旅行、車ドライブ。

現在の健康状態
現在の処異常なし(血圧のみ若干高めで要注意)

健康管理については、
生活のリズムを狂わす事なく一定のリズムで
推移する。 減煙、減酒を実行し無理をせず
体調に合った行動をとる。

早いもので社友会に入会以来六年が経過しました。
入会当初五〇〇六〇人程度の会員も今日では、
一〇〇人を越す大世帯になり二〇〇人に
達するのにも遠くないように思います。
今日の栃木支部を築いて頂いた 会社 労組
先輩諸氏の皆様方に敬意を表し、
紙上を借りて心より御礼を申し上げます。
今後は、支部会員相互の親睦を図り、
各クラブ活動を通じ趣味を活かし、より一層
充実した支部になる様、全員で頑張つて
行きましよう。



① 441
② 徳田 浩
③ 昭和 6. 11. 2.

体に気を付けながら、夫婦共々、
日々を過ごしております。



① 454
② 近部英彦
③ 昭和 7. 2. 15.

在職中の肝臓と相変わらず付き合われ、月に一回
通院しますが、小康状態を保っています。健康法は毎朝
NHKラジオ体操第一、第二を欠かさず励行して下
す。家事労働にも努めています。ぼけ防止には目下の
パソコン及び、日本経済と企業会計を読み解くため
日商簿記検定の受験を趣味にしています。



① 462
② 三友宏章
③ 昭和 10. 10. 16

シャープ社友会栃木支部の一〇周年を迎え、おめでと
うな座ります。会員の益々の発展を祈ります。私は趣味で
等々運動量になり、最近三ヶ月で2kg以上の減量と
なり構な運動量になり、元気で妻共々過ごしております。



① 451
② 田中 勇
③ 昭和 12. 9. 22.

社友会一〇周年を迎えるに当たり一言、
初代支部長並びに各役員の皆様には大変なご苦勞を
頂き現在に至り、会員数も百余名の大台に達し、
名実共に今後更に繁榮することを希望する。



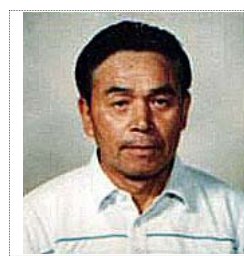
① 499
② 岡本 功
③ 昭和 7.11.11.

私事ですが、退職五年になります。退職三年後、病院に
入通院して居る現在、毎日早朝四〇分間約一万歩行
只、社友会の行事に参加できない事が残念です。



① 496
② 青木竹司
③ 昭和 7.11.6.

私が社友会に入会させて頂き早いものです、もう五年
になります。私も社友会幹事の末席にあつて多少でも
お役に立ちたいと頑張っています。幹事担当によつて
社友会に対する会社側のご支援やご援助が
良く解りました。会員さん達の日々の努力が、
結成一〇年の発展につながったものと信じます。



① 490
② 大嶋光義
③ 昭和 7.10.10

私も社友会員に入り、後少々で五年になります。
会員の皆様に会える旅行等で一人でも多い先輩、
後輩に会えることが楽しみです。
今は体も健康で時々、友人と魚釣りをして
楽しんでおります。



① 529
② 山内 栄
③ 昭和 8.2.27.



“ 一枝春 ”

自作篆刻

退職後に始めた水墨画、篆刻、日光彫の
教室通いは、現在水墨画と二年前に始めた
書道の月合計四回を続けています。
水墨画は、昨年から地域の文化祭等に
岡沢さん（油絵）と共に出展を始めました。
年賀状や季節の便りに活用しています。



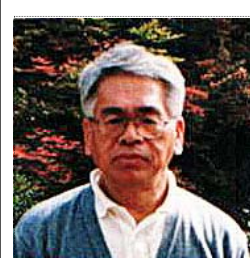
① 525
② 山路規生
③ 昭和 11.8.26.

セカンドライフは次のことを心掛けています。
○正しい食事 ― 五代栄養素をバランス良く採る事。
○心身の鍛錬 ― 晴耕雨読で心技体をつくる。
○積極的な生活 ― 趣味を中心とした物事への
取り組みをする。
このように前向きに楽しく生活をしている。



① 561
② 道畑一三
③ 昭和 8.8.16.

退職して四年余りになりますが、
社友会での人とのつながり、
特にゴルフ仲間との集いは
ゴルフ以外の情報も多く、生き甲斐に
なっております。
これからも多くの社友会仲間とつながりを
持ち続けたいと思います。



① 556
② 三好 斉
③ 昭和 8.6.24.

日々。元気に、明け暮れています。
趣味の目標 写真(入選)、海外旅行(五〇回)
ゴルフ(優勝)



① 587
② 山中洋雄
③ 昭和 9.2.12

社友会にて、一〇年間色々な行事をやってきました。
これから二〇年に向けて幅広い活動を希望します。



① 564
② 青柳強一
③ 昭和 8.9.5.

社友会設立一〇周年おめでとうございます。
役員諸氏は、精一杯頑張ってくださいました。
私も平成五年の退職で四年目を経ていました。現在
健康維持を考えて、ある事業所で働いております。
亦、趣味に就いても、何事にも挑戦したいと思っております。
カラオケとあり、仕事にも、社交ダンス、
これからの各行事について可能な限り参加し、会員相互
の親睦に努めたいと思います。勤務している関係で幹事
等役員は引き受け出来兼ねますが、努力する事に変わります。
併せて、社友会各位の健康を祈ります。



① 563
② 金田 治
③ 昭和 8.8.26.
④ 〒329-2162

九四年退社以来、ゴルフコンペ、旅行等、
社友会の各種の催しに参加し旧交を
温めています。皆さんの元気な様子を見
る喜びと年々新しいメンバーが増え、
交友の輪が広がって行くのも、
又、楽しみです。



① 603
② 林 由三郎
③ 昭和 7.3.8.

社友会一〇周年おめでとう御座います。
今後とも宜しく御願います。



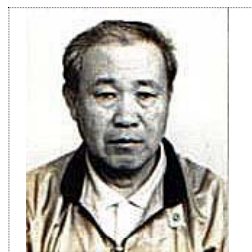
① 594
② 鈴木 宏
③ 昭和 9.1.19.

お陰様で私自身は健康ですが、
我が国の財政が不健康なので、これ以上悪化
しないよう、心からお祈り申し上げます。



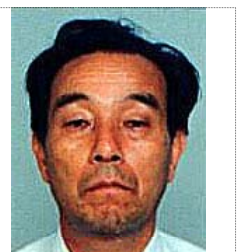
① 588
② 小川 武
③ 昭和 9.2.14.

定年後三年になります。幸い健康にも恵まれ自分の
趣味を作るよう、心掛けております。
皆様と、お会いできるのを、楽しみにしております。



① 679
② 村越 満
③ 昭和 9.12.15.

社友会の皆様お元気です。第二の人生を過ごされて
いる事にも存じます。私もお退職三年を経過しましたが、
大病にもならず過ごしております。平成四年の秋から、
シニア大学に入學して週一回、平成一九九年の秋から、
知識の向上とプロ教室の選択し、頑張り続けております。
五〇歳の誕生日には、六〇歳の誕生日に下さい。
頑張り続けております。



① 652
② 小松 博
③ 昭和 9.9.29.

昨年一〇月より栃木県シルバー大学校、北校に毎週
一回通学しております。今までの学習を始めています。
又、学校ではクラブ活動にも参加し、楽しい生活を
行っております。健康には留意し、毎日有意義に
過ごせる様、心掛けております。



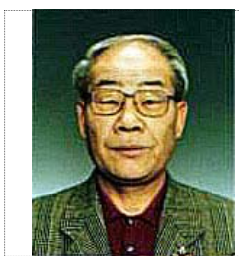
① 636
② 市村博美
③ 昭和 12.8.23.

栃木支部設立一〇周年おめでとうございます。御座います。私も会員になって早三年になります。社友会の会合や旅行で皆さんにお会いする事が何より楽しみにして居ります。今後とも社友会の益々の発展と皆様のご活躍と御健康をお祈りいたします。



① 710
② 佐藤由男
③ 昭和10.1.23.

退職後、早二年余の歳月が過ぎ健康に感謝の今日です。この度、四〇年間優良運転者の賞を頂きました。今後も無事故無違反の人生を歩みたいと思っています。



① 707
② 須藤利吉
③ 昭和10.3.10.

社友会の繁栄も、全会員の相互協力と役員方のご努力の賜だと思います。私も健康に注意し出来る限り、各行事に参加し親睦を深め、楽しい人生を過ごしたいと思っています。最後に皆様の健康と社友会の発展を祈ります。



① 668
② 佐藤嘉久
③ 昭和9.11.23.

月日の過ぎるのは早いもので、今年是我がシャープの事業部が矢板に進出して三〇年、社友会栃木支部も創設一〇周年を迎えます。私たちもこれから健康が一番、相撲にかばい手という手があります。これから、このかばい手のように、社会の一員としてかばい合いながら、又会員相互の親睦を深め合い健康第一で楽しく有意義に過ごしたいと思ひます。



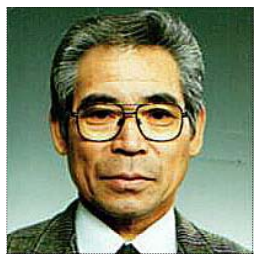
① 759
② 山崎一義
③ 昭和10.8.20

足かけ二八年のシャープの日々これサバイバルゲームであった(……通勤が)。第一、当時は『汽車』と呼んでいたヒナびた東北本線で六つも駅を越える田舎に驚いて丁重に入社ご辞退申上げたのだった。冬、冬の朝の橋の上、耳に痛い川風を受けて人影もない道を駆へ走る私。夏は毎日落雷で帰宅の列車は見当もつかず遅れる。今は『ラジオ深夜便』などをきき、朝は一〇時迄寝て「天高し猫と生まれて働かず」の句を実践している。——しあわせ！



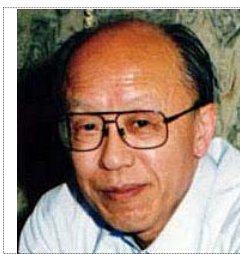
① 719
② 富岡堯子
③ 昭和10.3.18.

定年退職後、健康管理に注意しながら趣味の庭木の手入れ、盆栽の手入れをしながら旅行などをしております。これからも健康第一に社友会に一年でも長く入ってまいりますよう努力して行くつもりで御座います。



① 819
② 村上利夫
③ 昭和11.2.3.

シャープを卒業して二年有余、在職中は何んと心の裕のない毎日であった事か、時間に流される日々から流す日々へと転換した今日、健康に留意し、毎日をオーディオの音が絶え間なく流れ、好きな鉄道と一緒に今は天地の差があり、これでいいのかと感謝の日々です。社友会の活動にもそれなりにお役に立っているのだろうかとも想ひますが、今後も宜しく御指導下さい。



① 778
② 仲谷輝郎
③ 昭和10.10.27.

還暦を過ぎて数年“人生の佳境は、これから始まる”と思つてゐる。



① 772
② 大和田 実
③ 昭和10.10.10.

があらわれ、アマテラスをお願いしたら、



① 903
② 上野 敦
③ 昭和11.9.27.

創設一〇周年、過去を振り返り返つても仕方がないと私は思う。過去を振り返るより一〇年先のことを考える方が意義のあることと思う。土に帰っているかもしれない、握っているものは何かといえ、それは税金の使い方である。無駄なものに使われれば、お先は真つ暗である。一〇年先の夢が観れるように努力したいと私は思う。



① 822
② 藤森常祐
③ 昭和11.2.13

私も退職してから二年に成りました。毎日自分の仕事や地域の仕事で多忙な日々を送っています。これから体につけて元気にやっています。



① 820
② 大島郁郎
③ 昭和11.2.10



① 953
② 館脇基介
③ 昭和8.12.14.

十周年記念お慶び申し上げます。栃木社友会に入会一年余り、ゴルフに旅行に楽しく過ごさせて戴き感謝致しております。この度、故郷の淡路島に落ち着きました。二五年あまりの栃木生活では、皆様にお世話になりました。難う御座いました。明石海峡大橋も開通した事でもあり、(栃木社友会の淡路島出張所?)として、皆様のご来訪をお待ち致しております。



① 910
② 古川 孝
③ 昭和11.9.12.

栃木支部創設一〇周年記念御芽出度う御座います。在職中は大変お世話になりました。毎朝食前三分、犬と一緒に運動をします。植木の手入れや、農作業等、気の向くままに社友会の更なる発展と皆様のご健康を祈念致します。



① 909
② 小川清重
③ 昭和11.8.30



① 966
② 大本武美
③ 昭和12.1.1.

想ったより多忙な毎日、人生の豊かさを求め奉仕と信用を目標に微進させ、年の生活を元気に頑張っております。皆様のご多幸を祈念します。

社友会員になつて早くも一年になります。この間、先輩の導きもあり各種の行事に参加することが出来ました。又、ゴルフ愛好会を通じての各会員とのつながりも大切にして行きたいと思つております。取り組みも健康維持の為に運動と新しい事への取り組意欲を持ち続けたいと思つております。



① 917
② 中村 茂
③ 昭和11.10.10.

社友会の皆様こんにちは。お陰様で退職して満一年を無事過ごすことが出来ました。私なりに有意義な一年であつた様な気がします。昨年、自宅の生活にも四〇年無事な生活を送る事が受けました。健康で平々な生活を送る事が出来よう願っています。



① 911
② 古山 伊和夫
③ 昭和11.9.3.

会社の発展と社友会の親睦を図り、
第二の人生を楽しく送りましょう。



① 1060
② 渡辺主税
③ 昭和12. 5. 23

東京に本社のある会社にて、再就職し、『単身赴任』で
忙しく毎日を過ごしております。週末はリフレッシュの為、極力栃木の自宅へ帰る様
心掛けていますので、何かあれば是非声をお掛け下さい。



① 980
② 鳥居 勉
③ 昭和12. 1. 27.

一昨年末、社友会に入会し早や二年近くになりますが
ゴルフや懇親旅行等、会員の皆様と交流が出来て
第二の人生を楽しく過ごしております。お陰様で
身体の方も前にもまして調子よくこれから色々な
行事に参加して皆様との交流を深めたいと思
っています。



① 954
② 浦浜 望
③ 昭和11. 12. 22.

リタイアして一年
自己流の健康作りと趣味、
心身共にいたって健康
地域活動への参画等
ゴルフ絶好調等
!!



① 1061
② 岡沢幸男
③ 昭和12. 5. 25

社友会の仲間入りをさせていたから、
早一年が過ぎ、ようやくリタイア後の生活に馴染み
元気に過ごしております。現在、パソコンの画像処理
関係の習得に組み込み苦戦中です。また、地域の
人々とも交流を深める事に努めていきたいと思います。



① 1055
② 永谷光弘
③ 昭和12. 5. 18.

以前、時間があれば色々やりたい事があるのと
思いついて一杯でも時間が持てると余り有効活用して
ない！との反省もあり、その後スケジュールを
建ててみたが：ストレスに必要に時間制約される
計画を立てるとストレスになるように思われる
止めよう。



① 1017
② 石井 光
③ 昭和12. 3. 20.

私は第二の職場でありました「世界のシャープ」に
七年間努めさせて頂きました。昨年の三月に退職しまし
皆様の後援なく勤務出来たことに感謝しております。
退職後は旅行、読書、散歩、ゴルフ等をして
生活を楽しんでおります。皆様のご健康を御祈念いた
します。



① 1070
② 松島義夫
③ 昭和 7. 3. 19.

健康管理を第一義として、好きなスポーツ、
日々の散策に心掛けております。
ボケ防止にもなる囲碁の勉強を始めております。
囲碁に興味のある方、一緒に勉強しませんか。



① 1069
② 井村俊朗
③ 昭和12. 6. 24.

平成九年六月に新会員に加わりました。
栃木創設以来共に苦楽を味わった先輩諸兄と
社友会、趣味分野で交流させて頂きます。
現在、趣味分野で多忙な毎日です。



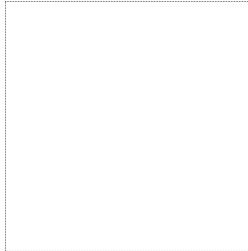
① 1062
② 柏原武司
③ 昭和12. 6. 3.

現在は栃木より遠く離れた青森にて生活をして
おりますが、「窓」や社友会栃木支部からの情報で、
事業部の皆様方のご活躍に胸躍らせております。
温暖になりましたら栃木に行き旧交を温めたいと
思っておりますのでその節は宜しく御願いたします。
社友会の益々のご発展と、
皆様方の御健康をお祈りいたします。



① 1168
② 津軽事朗
③ 昭和12.11.23.

退職後一年が過ぎまして、第二の人生を踏み
出しました。楽しくやっています。



① 921
② 和気敏夫
③ 昭和11.10.2.

二月に退職して日が浅く未だ新生活に慣れて
いません。今までは持てなかつた、自由時間を、健康に留意し
充実した時間に使うて行きたいと思っております。
皆様の御交誼を頂きますようお願いいたします。



① 1192
② 北峯 稔
③ 昭和13.2.2.

入会したばかりで、色々地区役員の方々には、
解りよかったです。色々と下さいました。
本当に感謝申し上げます。
お陰様で会のお世話になつております。
此からもどうぞ宜しく御願いたします。



① 826
② 印南 悟
③ 昭和11.2.25.

毎日が楽しく過ごしています。
全員の御健康をお祈りします。



① 683
② 長谷川光男
③ 昭和10.1.19.



① 1084
② 木川順一
③ 昭和12.7.6.



① 332
② 田中正造
③ 大正15.7.15

栃木支部
事務局長

① 386
② 中村義雄
③ 昭和 5.10.2.

栃木支部
副支部長

① 345
② 石塚 忠
③ 昭和 2.8.24.

栃木支部
初代支部長

① 248
② 木村 正
③ 昭和 3.3.31.

栃木支部
支部長

① 399
② 浦川正司
③ 昭和 6.1.14.

《 歴代 社友会栃木支部 役員一覧表 》

	平成元年	平成 3 年	平成 4 年	平成 5 年	平成 7 年	平成 9 年
顧 問	稲見作十					
支部長	木村 正	木村 正	浦川正司	浦川正司	浦川正司	浦川正司
副支部長	保科雄喜	石塚 忠	石塚 忠	石塚 忠	石塚 忠	石塚 忠
事務局長	西脇仁平	浦川正司	中村義雄	中村義雄	中村義雄	中村義雄
幹 事	石塚 忠 吉田満良 石下五一 小野崎文夫 佐藤徳雄 大森光男	西脇仁平 佐藤徳雄 田中正造 山田一郎 野滝 通 宮本利夫 関 栄三 郡司栄治	土屋俊夫 国井豊邦 田中正造 山田一郎 野滝 通 宮本利夫 関 栄三 郡司栄治 松本元一	松本元一 徳田 浩 川島千之助 青木竹司 薄井幸市 吹上栄造 益子 充 吉川 昇 印南基雄	徳田 浩 田中 勇 三友宏章 高橋 実 野中 操 中野宗平 船山忠平 小野崎庄作 佐藤嘉久 金田 治 仲谷輝郎	山崎一義 徳田 浩 三友宏章 中村 茂 山口和夫 大島光義 大谷仲治 青柳強一 田中 勇 村越 満 吉田満良 仲谷輝郎
会計監査	広尾義治 斉藤幸夫	広尾義治 斉藤幸夫	広尾義治 西脇仁平	広尾義治 関 栄三	広尾義治 関 栄三	広尾義治 関 栄三

編集後記

支本部、十周年記念号発行に当たり、社友会
支部の各位、並に社友会栃木支部全会
員の絶大なご協力、賜り、厚く御礼申
ご上げます。今後とも引き続き会報への
投稿を切に願ひ申し上げます。
《編集委員(栃木支部役員)一同》

栃木支部 物故会員

〔ご冥福をお祈り申し上げます。〕

会員番号	氏 名	逝去年月日	享年
8 8	稲見作十	平成 1, 12. 22	7 3 才
3 2 9	石下五一	平成 2. 1. 24	6 4 才
7 3	増田伝助	平成 3. 4. 3	8 0 才
3 3 3	向 昭	平成 5. 5. 12	6 6 才
1 4 2	窪田清一	平成 6. 1. 27	7 5 才
3 7 8	橋本喜代	平成 6. 10. 14	7 3 才
3 2 1	豊田利雄	平成 6. 12. 5	7 0 才
6 0 1	中島正平	平成 7. 5. 17	6 0 才
3 6 7	鈴木健司	平成 8. 3. 15	6 6 才
3 6 1	鈴木七郎	平成 10. 1. 3	6 7 才
3 4 4	細川重芳	平成 10. 1. 17	7 0 才